

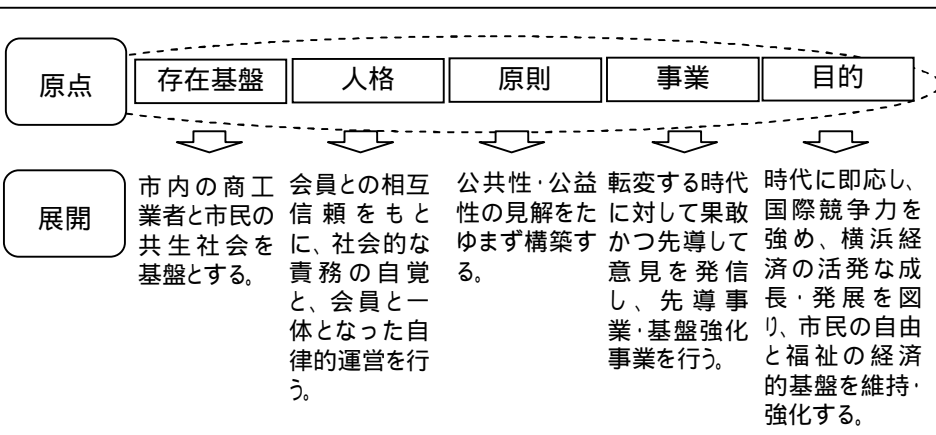
横浜商工会議所の原点

商工会議所法および定款に立ち戻り、原点を再発見し、これを展開して新体制発足にあたっての理念の構築に結びつける。

横浜商工会議所の原点

市内の商工業者の協働社会を基盤とし、(存在基盤)
 商工会議所法の規定に基づく法人として、(人格)
 営利を目的とせず不偏不党の立場を占め、(原則)
 意見の公表・具申・建議並びに諸事業を行いつつ、(事業)
 市内及び我が国の商工業の総合的な改善発達を図り、
 社会一般の福祉の増進に資する。(目的)

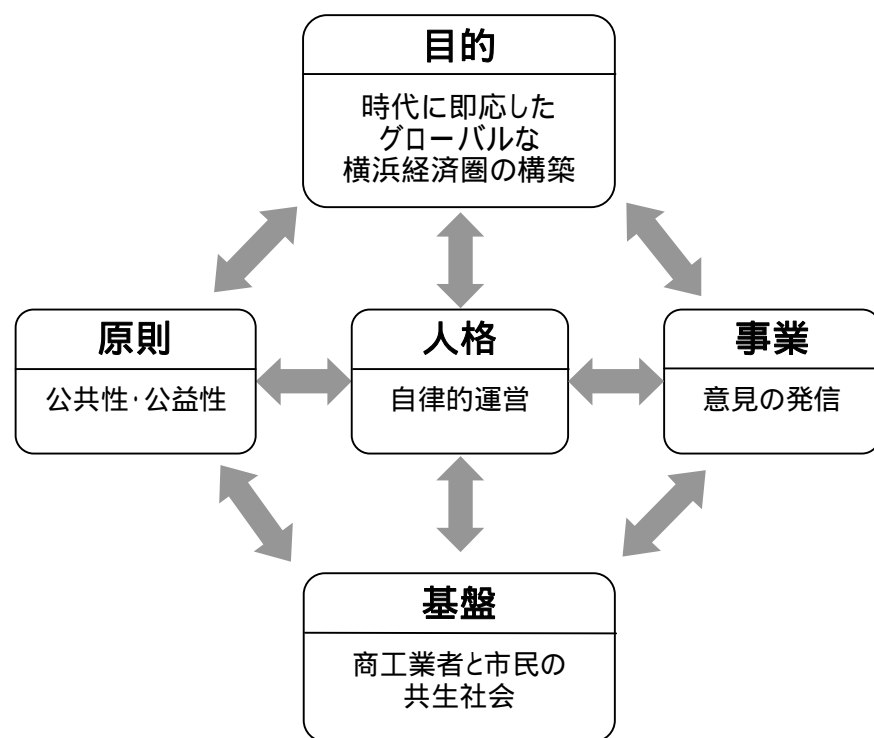
横浜商工会議所の原点の展開



新体制発足にあたっての理念

原点の展開から、創立 150 周年を迎える 2030 年を想定して、下図に示すように新たな理念を設定する。

横浜商工会議所の新体制発足にあたっての理念



運営方針

原点に立ち戻り、新たなる理念を目指すにあたり、以下を横浜商工会議所の運営方針とする。

組織の目的を達成するために、

現状を正しく認識・共有し、

速やかに行動する。

現状認識と課題

横浜商工会議所の根幹的な課題は、低下しつつある社会的なプレゼンスを向上させることにある。これを実現するために、図に示す基本 3 課題と政策 5 課題を設定し、相互に連動させながら解決を目指す。

根幹課題

社会的プレゼンスの向上

基本 3 課題

- 1 会員数の拡大
- 2 発信力の強化
- 3 組織の活性化

政策 5 課題

- (1)総合経済団体としての代表性の向上
- (2)財政基盤の強化
- (3)会議所としての意見・具申力の強化
- (4)執行部・事務局の生産性向上
- (5)市内商工業者の取引連鎖の拡大

「共創」
 会員と共に
 市民と共に
 創ろう新たな経済力

組織・体制の確立

- (1)本部・支部組織と事務局の体制構築
本部における委員会組織と支部組織、そして、この運営を支援する事務局の体制構築。
- (2)タスクフォース的なワーキンググループの活性化
時機に応じたテーマについて検討を促進するため、時限的なワーキンググループを設け集中討議。
- (3)委員会の運営基軸の明確化
政策提言機能としての政策委員会、組織ガバナンスのための総務委員会、新事業推進のための専門委員会等、各種委員会を適切に遂行。

委員会新組織

- (1)部会委員会・支部委員会・女性会
- (2)常任委員会
 会員増強推進委員会
 政策委員会 総務委員会
 地域活動委員会
- (3)専門委員会
 産学連携委員会
 都市政策委員会
 企業の社会的責任委員会
- (4)特別委員会
 開港 150 周年事業委員会
 先端産業組織化委員会

アクションプログラム

活動指針 Foresight 2010 の事業化

- (1)開港 150 周年事業
開港 150 周年事業を、「時代に即応したグローバルな横浜経済圏の構築」(理念)を図る契機と位置づける。
- (2)ヨコハマブランド形成事業
世界に発信する意見、商品、サービスの構築。
- (3)地域活動事業
市内商工業者と市民の共生社会という基盤を強化。
- (4)コミュニティーサービス事業
区と提携し地区サービス事業を展開する等、都市経営、都市再生事業の実施。
- (5)中小・小規模企業施策等既存事業の継続・強化 等